

今、別の塾へ通っているのですが、成績が伸び悩んでいます。

子供のいる塾講師が、子供が通う塾を選ぶ時に、
“絶対入れさせない塾”の調べ方は、これです！

お子さんに最適な塾かどうか、なるべく早めに知っておいたほうがいいですよ。



次の質問を塾講師に質問して、納得のいかない場合、
選択肢から除外することをおススメします。なお、
『キ』は、質問に対するキャリアの返答内容です。



	個別指導	集団授業
授業 進度	生徒の理解速度に合わせて授業をしていると思うが、理解度の遅い生徒は、試験範囲まで進まない可能性が高い。この場合、どう対処しているのか？ キ：居残り指導、考査直前1回補講を無料にて実施。	予習授業なので、分からない問題も出てくる。その生徒に合わせて、分かっている生徒は無駄な時間が生じると思うが、どう対処しているのか？
質問	分からない箇所が分からないから、生徒は質問ができないと思う。この課題に、どう対処しているのか？ キ：担当講師が頻繁に質問し、生徒に回答させる。返答内容から、分からない原因を見つけ出し、解説する。	質問をするのは勇気がいるので、ほとんどの生徒は質問をしないと思う。この課題に、どう対処しているのか？
やる気	勉強のやる気をどのように引き上げているのか？それはシステムになっているのか？ キ：英単語祭り、成績優秀者特別制度、コマ競争、4コース制度、キャリア教育でやる気を引出し、これらをシステム化している。指導経験が5年以上のプロ講師も選べる。	
宿題	宿題の答え合せは講師がしているか？間違えた問題は、どのように指導しているのか？ キ：講師が答え合せをして、間違えた問題は全問解説し、解けるまで宿題に出す。	
確認	テストの答え合せは講師がしているか？間違えた問題は、全て解説してくれているか？ キ：講師が答え合せをして、間違えた問題は全問解説し、何度でもチャレンジできる。	
責任	塾の条件で指導を受けているが、成績が上がらない場合、誰がどう責任を取るのか？ キ：塾長が全責任を負う。3段階毎に授業料を無料にする3ステップ保証を出す。	